

8/28
早稲

「原発ゼロ」の言葉使わないで

合流新党に連合注文

連合の神津里季生会長は二十七日、立憲民主党の枝野幸男代表と東京都内の連合本部で会談し、国民民主党などとの合流新党結成を支援する考えを伝えた。一

方で、新党の綱領案に「原発ゼロ」が盛り込まれたことに強い懸念を表明。神津氏は「枝野氏のような責任ある立場の方は、『原発ゼロ』という言葉を使わないで」と求めた。

立憲、国民両党と連合は同日、新型コロナウイルス感染症収束後の社会像として共有する「理念」を発表。民間労組に反発がある「原発ゼロ」の表現は盛り込ま

なかった。ただ、「原発ゼロ」を含む新党綱領案の修正がなされないことから、複数の国民の産別系議員は合流新党への不参加に傾いている。

神津氏は、立憲が国会提出した原発ゼロ法案の見直しや、選挙公約での「丁寧な表現への置き換え」も要求。枝野氏は「指摘はしっかりと受け止めながら、われわれが目指す社会を実現する」と応じた。会談後、神津氏は記者団に、「組織内議員には何としても私たちが一緒に戦っていただきたい」と述べ、合流新党への参加を呼び掛けた。